



備前おさふね刀剣の里 備前長船刀剣博物館



<各種講座>
毎月第1・3土曜日には小刀製作講座
毎月第4日曜日には日本刀手入れ講習会
毎月第2日曜日には古式鍛錬公開
毎月1回刀剣の里チャレンジ教室(小中学生向け)

「備前おさふね刀剣の里」鳥瞰図



博物館、今泉俊光刀匠記念館、刀剣の里鍛刀場・刀剣工房、ふれあい物産館、研修館などの施設を有しています

岡山県瀬戸内市長船町長船966 TEL 0869 (66) 7767

- 入館料 <通常時> 一般500円(400円)、高大生300円(250円)、中学生以下無料 ※()は20名以上の団体料金
- 休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始、展示替期間
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 交通 JR長船駅からタクシーで約7分

全国に200万口^{ふり}の刀剣類がある中で、国宝の日本刀が111口あり、その中で備前刀は55口指定されています。その備前刀の作刀の中心地が当館の建つ長船を中心としたエリアです。

昭和58年の開館当初は刀剣だけではなく、発掘資料などを展示する郷土の博物館でしたが、平成16年のリニューアルオープンとともに公立の館としては唯一の刀剣専門の博物館として生まれ変わりました。

当館のコレクションを時代の変遷とともにご紹介しますと、平安時代後期の源平合戦の前後に活躍した古備前・利恒から、鎌倉中期に承久の乱等を経験した華やかな刃文・重花丁子を焼く一文字派の作、鎌倉後期にいたって二度の元寇によって進化した長船派の作、太平記にみる戦乱の南北朝時代を迎え、元重派、長義派、大宮派、小反派の作へと続きます。

室町時代には足利義満による金閣寺が造営された頃、応永備前の巨頭・盛光、康光が活躍し、川向かいの吉井派などを交えつつ、永享備前の則光・祐光たちを経て、応仁の乱で大活躍する足軽たちの需要に応じて片手打ちの作を多く作り、日明貿易では24万口(他説では100万口)ともいわれる日本刀が海外輸出され、その多くを長船鍛冶が担ったといわれています。戦国

時代にいたり、西国の各大名に末備前鍛冶の勝光、宗光、忠光、清光、法光、春光、祐定などが一族を連れ参陣し敵味方にわかれて、需要に答え、名品と数打ちの両方を残しました。

江戸時代の太平により全国的な需要減とお抱え鍛冶に選ばれなかったことにより長船鍛冶は大きく衰退しますが、横山祐定三家を中心に横山七兵衛尉祐定、上野大掾祐定、大和大掾祐定の親子の活躍もあり連綿と技術が伝承されていきました。幕末には、新々刀の横山祐永・祐包を経て明治の磨刀令にいたります。幕末には長船鍛冶の中でも鉄砲屋の屋号を持つ刀匠・祐信らによって火縄銃の一大産地として盛隆し、多くの備前筒が作られました。

こうした各時代の備前物だけでなく、五ヶ伝などの他国物も充実しつつあります。開館当初から購入品はほとんどありませんが、全国から寄贈、寄託が多く、収蔵品は年々増加しています。

当館の場合、常設展はなく、年間6回の企画展を開催しすべての展示作品をその都度入れ替えています。その内3回は他館の名品をお借りしての特別展を開催しています。他の3回はテーマにあわせて館蔵品を公開しています。当館では日本刀を知っていただく、好



「全日本刀匠会中国四国地方支部会員製作」の刀剣

特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」

会期 2012年7月14日(土)～9月17日(月・祝)まで66日間
休館日 会期中無休
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般700円、高大生500円、小中学生200円

きになっていただくきっかけとなる展示を目指しています。そのため、さまざまな分野とコラボする手法が多く、過去「大相撲と日本刀」、「時代小説と日本刀」、「川柳と日本刀」、「ことわざから見る日本刀」、「古いと日本刀」といった、広く日本刀文化を感じていただけるよう工夫をしています。また、博物館ボランティアも充実し、事前予約いただけましたら、個人、団体にかぎらずご案内させていただいています。

日本刀は刀匠だけでは完成せず、研ぐのは研師・ハバキという金具を作る白銀師・鞘を作る鞘師・漆を塗る塗師・柄糸を巻く柄巻師・刀身に彫りをほどこす刀身彫刻・鐔を作る鐔工など様々な職方の手を渡って出来上がる総合芸術品です。当館の最大の特徴は、こうした職方が併設の工房にて常時仕事ぶりを公開しているということです。刀匠2名、白銀師1名、塗師1名、刀身彫刻1名の計5名が常駐し仕事ぶりを公開しています。他に毎週日曜日、第1・3土曜日、祝日には研師、毎月第2日曜日には鞘師、第2・3・4日曜日には柄巻師が来場・実演され、様々な質問などにお答えしていただきます。刀剣に関する講座も充実し、観るだけでなく、話す、触れる、体験することができる博物館を目指しています。(備前長船刀剣博物館学芸員 植野哲也)



古式鍛錬様子
毎月第2日曜日、午前11時からと午後2時から、各1時間ずつ開催



白鞘製作



漆塗り



柄巻き



研磨